

9月24日～30日は『結核予防週間』です。

結核はなくなった病気ではありません。結核は世界中に存在し、日本では今でも1日に約40人の新しい患者が発生し、6人が命を落としている重大な感染症です。

日本の結核の現状	(出典：結核の統計2020より)
新規登録患者数（1年間で新たに結核を発病し登録された人の数）	： 14,460人
死亡者数	： 2,088人

◇結核とはどんな病気？

結核は、結核菌によって主に肺に炎症ができる病気です。菌を出している肺結核患者の咳やくしゃみなどの「しぶき」と一緒に結核菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことでうつります。

また感染してもすべての人が発病するわけではありません。健康であれば免疫の働きで発病が抑えられますが、病気などで免疫力が落ちると菌が再び活動し発病する可能性があります。

症状は最初は風邪に似ています。「タンのからむ咳や微熱、身体のだるさが2週間以上続く」場合や、咳やタン、発熱などの症状がなくても「体重減少、食欲がない、寝汗をかく」といった症状が続く場合には結核が疑われます。早めに受診しましょう。

◇結核は予防できるの？

適度な運動、十分な睡眠、バランスの良い食事など、健康的な生活が免疫力を高め、結核の予防につながります。また早く見つけることが重症化を防ぎ、周囲への感染予防につながります。症状がなくても定期的に検診を受けましょう。

◎結核予防週間に合わせて鏡野町愛育委員会では結核予防街頭キャンペーン活動を実施します。
結核予防へのご理解とご協力をお願いいたします。

【結核予防街頭キャンペーン活動】

日時：令和3年9月26日(日) 10：00～11：30頃

会場：PLANT-5 鏡野店

※感染症等の状況によっては、変更となる場合があります。

9月10日～16日は自殺予防週間

「自殺」の原因・背景は様々ですが、心理的に追い込まれた末に起こることであり、誰にでもその恐れはあります。

悩みをひとりで抱え込まず、早めに専門機関に相談することが大切となります。また、周りの気づき、理解・支援が大切な人や自分自身のかけがえのない命を守ることになります。

大切なことは「気づく」・「聴く」・「つなぐ」・「見守る」ことです。

鏡野町でも毎年大切な命が失われています。

★専門相談機関★

- ・岡山いのちの電話 電話(086)245-4343(24時間いつでも可)
- ・岡山県精神保健福祉センター 電話(086)201-0828
こころの電話相談
- ・美作保健所 電話(0868)23-0145
- ・鏡野町保健指導推進センター 電話(0868)54-2025